

求精教育
QIU JING JIAO YU



新日语等级考试N1—N3**攻略**系列教程

JLPT

新题型

文法教程



主 编 李 哲

■ 副主编 方灿灿 罗丽霞



WUHAN UNIVERSITY PRESS

武汉大学出版社

求精教育

QIU JING JIAO YU



新日语等级考试N1—N3**攻略**系列教程

JLPT

新题型

文法教程

N1

■ 主 编 李 哲
■ 副主编 方灿灿 罗丽霞



WUHAN UNIVERSITY PRESS

武汉大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

JLPT 新题型文法教程. N1/李哲主编;方灿灿,罗丽霞副主编. —武汉:武汉大学出版社,2012.1

新日语等级考试 N1—N3 攻略系列教程

ISBN 978-7-307-09416-1

I. J… II. ①李… ②方… ③罗… III. 日语—语法—水平考试—自学参考资料 IV. H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第 282909 号

责任编辑:谢群英

责任校对:王 建

版式设计:马 佳

出版发行:武汉大学出版社 (430072 武昌 珞珈山)

(电子邮件: cbs22@whu.edu.cn 网址: www.wdp.com.cn)

印刷:湖北恒泰印务有限公司

开本: 720 × 1000 1/16 印张: 27.5 字数: 447 千字 插页: 1

版次: 2012 年 1 月第 1 版 2012 年 1 月第 1 次印刷

ISBN 978-7-307-09416-1/H · 853 定价: 38.00 元

版权所有,不得翻印;凡购我社的图书,如有质量问题,请与当地图书销售部门联系调换。

前言

日本语能力测试 JLPT(日语等级能力考试)是由日本国际交流基金会和日本国际教育协会为全世界的日语学习者设置的一项国际性日语水平考试,这项考试于 2010 年开始已经全面变革,不同于以往的题型、不同于以往的分数评定标准,再加上主办单位日本国际交流基金会宣布今后不再出相关的出题基准,这些都使考生比较困惑。为适应这一新的变化,本套《新日语等级考试 N1—N3 攻略系列教程》将会针对新等级能力考试进行强化训练。本套书分别针对 N1、N2、N3 三个级别编撰,语法篇为该套系列教程的重点部分。基于新等级考试的文法题型规定(见下表),《JLPT 新题型文法教程 N1》针对各类题型进行独到的讲解。为方便广大考生在短时间内学习并掌握语法知识,本教程在参考历年真题和以往各类语法参考书籍的基础上,汇集了多位编者十多年的授课经验,使本套系列语法篇具有如下特点:

試験科目			N1	N2	N3	N4	N5
言語知識 ・ 読解	文 法	文の文法 1 (文法形式の判断)	10 問	12 問	13 問	15 問	16 問
		文の文法 2 (文の組み立て)	5 問	5 問	5 問	5 問	5 問
		文章の文法	5 問	5 問	5 問	5 問	5 問

1. 语法条目排序严谨。与所有语法参考书籍不同,本书在语法条目编排上采用严谨的词性分类法,先以“词性”进行一级排序,按照考试重点由名词、动词等实义词到助词、助动词等无实义词进行分类,再将各个词类以“假名”顺序进行二级排序,同义句型则在各个词条中注明。由词性来划分语法条目,其最大的优点在于能够通过语法的关键部分清晰地记住接续方法,

前言



而不出现记忆混乱。

2. 语法条目涵盖面广，收录了历年所有的语法试题。本教程参照以往的一级考纲和历年真题，共收录 180 余条句型，明确注明了必备句型和补充参考句型，使考生在学习过程中能够明确考试重点，在短时间内发挥最大的记忆效率。

3. 对首次收录的代词、连体词、副词、接续词等词条，与相关语法条目并行解释，对新的文章语法题型，做到有的放矢。

4. 对各类语法条目均详细解释其实际出处，使考生能够一目了然，一通百通，尤其对新的语法排序题，在语法条目变形拆分后仍能准确判断原有含义，并迅速找到正确答案。

5. 按照日语“学校语法”和“教育语法”两大体系并行解释，本教程所使用的语法术语不仅与市面上各类日语教材接轨，而且与专业的日语语法教程保持一致，有利于考生掌握系统的语法知识，进一步提升语法分析能力。

6. 紧跟时代潮流，选用最新的文章和例句。本教程中的文章和例句多选用近年来新出的内容，和现实生活紧密相关，读者可以在学习过程中熟悉时事动向。

《JLPT 新题型文法教程》系列教材不仅大量采用了日语语法界最新学术研究成果，而且尽量做到解释上的简明易懂，对重、难点句型均有独特的应对方法，旨在希望学习者能够一通百通。本系列教材的主要使用对象是希望通过 JLPT 的学习者，由于 JLPT 改革在逐步向国际上的语言类考核试题看齐，故本系列教材也大量吸取了其他日语考试类的内容和方法，对 J-TEST、日语考研、日语专业四级、专业八级等各类日语相关考试也能起到一定的强化训练和参考作用，希望大家通过本系列教材的学习能够顺利通过考试。

由于水平有限，书中难免有不妥之处，敬请各位指教。

编者

2011 年 10 月

記号・略語表

説明用記号

、	文例、区例の区切り、また、語例の区切りなどを示す
。	主に、句点として分の終わりなどを示す
【 】	日本語の漢字や外来語の語源などを示す
⇒	注意すべきところなどを示す
◇	文法説明用のポイントを示す
▶	例を挙げる印
(参考)	同義語、類義語、対義語などで参考になることを示す
(区別)	同義語、類義語などで使い分けを注意すべきことを示す

品詞略語

名	名詞
代	代名詞
数	数詞
接尾	接尾辞
接頭	接頭辞
連体	連体詞
副	副詞
感	感嘆詞
形	形容詞
形動	形容動詞
他	他動詞
自	自動詞



各課の構成

各章の構成は下記のとおりです。また、過去問題を含めた各章の問題についての参考答案及び解析も本書の最後に添付しております。

第二章 以名词为主的句型

定義などを簡潔に説明

名词是指表示事物或人的具体名称的词……

第一节 必备句型

1. あいだ【間】

◇ 本義

まず、名詞としての本義を説明
日本語の説明を主として中国語
の説明を補助ポイントとする。

①直接続かない二つの点(物)の非連続部分をみたす空間・時間など。

间隔、空間、間隙。

▶ 木立の間から空をのぞく。

◇ 文型

次に、文型としての使
い方や用例を説明

あいだ(は)あいだに(は)

接続：体言＋の、用言及び助動詞の連体形

意味：

時間间隔，表示在前项事情发生的时间段内发生了后项事情。(略)

▶ 私は夏休みの間、都会の喧噪を離れ、ずっと故郷の実家で過ごした。

形式、接続、意味(中
国語と日本語)、例(5
つ以上)、参考・区別。

⇒(参考・区別)時、場合、うち、ところ、際、に際して、に当たって

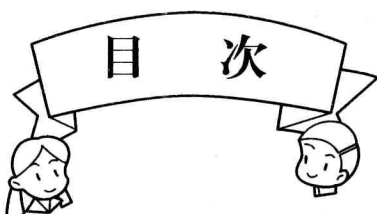
模擬問題(一)

問題Ⅰ 次の文の()に入れるのに最も良いものを、1・2・3・4から一つ
選びなさい。

1 あそこも日本人旅行者が少ない_____行っておかないと、きっと
すぐに開発されて日本人だらけになるだろう

1 さいに 2 あいだに 3 あいだは 4 ばあい

(略)



语法基础篇

第一章 日语语法基础知识.....	3
品詞分類表.....	9

第二章 以名词为主的句型	10
--------------------	----

第1节 必备句型	11
----------------	----

1. いかん「如何」.....	11
2. いたり「至り」.....	12
3. かぎり「限り」.....	13
4. かたわら「傍ら・側ら」.....	15
5. かわきり「皮切り」.....	15
6. きらい「嫌い」.....	16
7. きわみ「極み」.....	17
8. こと「事」.....	18
9. さいご「最後」.....	19
10. しまつ「始末」	20
11. そば「傍・側」	21
12. ため「為」	22
13. つもり「積もり/積り/心算」	23
14. ところ「所」	24
15. ほど「程」	25
16. もの「物」	26
17. ゆえ「故」	29



18. よそ「他所・余所」	30
第2节 补充句型	31
1. おぼえ「覚え」(おぼえはない)	31
2. き「機」(をきに)	31
3. しい「次第」(しだいだ)	32
4. すべ「術」(すべがない)	32
5. ためし「試し・試・験し」(ためしがない)	33
6. てまえ「手前」(~たてまえ)	33
7. どうぜん「同然」(もどうぜんだ)	34
8. なおざり「等閑」(をなおざりにして)	35
9. はずみ「弾み」(はずみに)	35
10. 拍子(たひょうしに)	36
11. まし「増し」(ほうがました、だけました、ならました)	36
12. むり「無理」(はむりもない、てもむりもない)	37
文法練習	38

第三章 以动词为主的句型 63

第1节 复合动词	63
1. こなす	64
2. そびれる	64
3. そこなう「損なう」/そこねる「損ねる」/そんずる「損ずる」	64
4. ちらす「散らす」	65
5. はたす「果たす」/はてる「果てる」	65
6. まくる「捲る・捲くる」	66
第2节 补助动词	66
1. いく「行く」	67
2. いる	68
3. おく「置く」	69
4. かなう「敵う」	70
5. さしつかえる「差し支える」	71

6. すます「済ます」	72
7. すむ「済む」	73
8. たまう「給う」	74
9. のける「退ける」	75
10. はじまる「始まる」	76
11. はばかり「憚る」	76
12. やむ「止む」	77
第3节 形式动词	78
一、以「に」开头的动词	78
1. にあたいする「値する」	78
2. にあたる「当たる」	79
3. にある	81
4. にいたる「至る」	83
5. におく「於く」	84
6. におよぶ「及ぶ」	84
7. にかかる「掛かる」	86
8. にかぎる「限る」	87
9. にかこつける「託ける」	88
10. にかまける「感ける」	89
11. に越す	89
12. にしく「如く」	90
13. にしのびない「忍びない」	91
14. にする	91
15. にそくする「即する・則する」、にのっとる「則る」	94
16. にそむく「背く」	95
17. にたえる「耐える・堪える」	96
18. にたる「足る」、にたりる「足りる」	97
19. につながる「繋がる」	98
20. に照らす	100
21. に止まる	100



22. に引き換える	101
23. にめんずる「免ずる・免じる」	101
24. に増す	102
二、以「と」开头的动词	103
1. とあいまって「相俟って」	103
2. とある	104
3. という	106
4. と打って変わる	116
5. とおもう「思う」	116
6. とくる「来る」	118
7. とする「為る」	118
8. となる「成る・為る」	121
三、以「を」开头的动词	123
1. をおく「措く」	123
2. をおす「押す」(をおしきって「押し切って」)	124
3. をかえりみる「顧みる」	125
4. をかさねる「重ねる」	126
5. をきんじる「禁じる」	127
6. をする	128
7. をひかえる「控える」	129
8. をふまえる「踏まえる」	130
9. をへる「経る」	131
10. をみこむ「見込む」	132
11. をもって「以って」	133
四、以「から」开头的动词	135
1. からある	135
2. からする	136
3. からできる	137
4. からなる	137
五、其他	138

文法練習	138
第四章 以形容词为主的句型	174
第1节 以活用为主的句型	174
1. 未然形(かろう)	174
2. 未然形(からず)	174
3. 連用形(く)	175
4. 命令形(かれ)	175
5. う音便	176
6. 文語形容詞なし「無し」	176
第2节 形容词句型	178
1. かたい「難い」	178
2. いい	179
3. はやい「早い」	180
4. ひさしい「久しい」	181
5. ひとしい「等しい」	181
文法練習	182
语法进阶篇	
第五章 以助词为主的句型	197
1. 主格助詞「が」	198
2. 格助詞「の」	200
3. 格助詞「まで」	202
4. 格助詞「で」	206
5. 助詞「から」	207
6. 文語格助詞「にて」	209
7. 提示助詞「は」	209
8. 提示助詞「も」	210
9. 提示助詞「こそ」	211
10. 文語助詞「して」	214



11. 文語助詞「や」	216
12. 副助詞「と」	219
13. 提示助詞「って、ってば、ったら、ったって」	221
14. 副助詞「とか、だの、やら」	222
15. 接続助詞「と、とも、ども、が」	224
16. 副助詞「さえ、すら、だに」	229
17. 副助詞「だけ、のみ」	230
18. 副助詞「ばかり」	233
19. 助詞「なり」	237
20. 文語助詞「とて」	239
21. 接続助詞「ては」	241
22. 接続助詞「ながら、つつ」	242
23. 接続助詞「ば」	245
24. 接続助詞「ものの、ものを、ものなら」	247
25. 接続助詞「ところで、ところ(が)」	248
26. 文語接続助詞「に」	249
文法練習	251

第六章 以助动词为主的句型 287

1. 口語打消助動詞ぬ(ん)	287
2. 文語打消助動詞ず	288
3. 口語使役助動詞しめる	291
4. 口語推量助動詞う(よう)	291
5. 口語推量助動詞まい	296
6. 文語推量助動詞む(ん)	298
7. 文語推量助動詞まじ	301
8. 文語推量助動詞べし	302
9. 文語断定助動詞たり	305
10. 文語断定助動詞なり	310
11. 文語完了助動詞つ	313

12. 文語比況助動詞ごとし	313
文法練習	315
第七章 其他	339
第1节 代词	339
第2节 连体词	343
第3节 副词	344
第4节 接续词	350
第5节 接尾辞	355
文法練習	362
第八章 敬语	385
敬请词汇表	385
文法練習	388
附录1 用言及び助動詞活用表	407
附录2 文型仮名索引	413
附录3 参考答案	421
参考文献	424

目

次



语法基础篇

(本教程第一章至第四章均为实义词，属于 N1 基础语法，七成以上的语法题目均出自于此，请务必将其中标有“★”号的内容熟记下来。由于 N1 考试内容包括其他级别的语法范围，要求在学习本部分内容时尽量参考 N2、N3 语法教程，同步巩固。)



第一章 日语语法基础知识

日语语法体系主要分为两大类,即“学校文法”和“教育文法”。“学校文法”主要是以日本人为主,日本的小学、初中、高中的国语课本均已该体系为准,分类比较严谨,逻辑性强,但术语过多,分类较为复杂,不宜初级阶段的学习。而“教育文法”主要是针对不以日语为母语的外国人,为教学方便只进行比较简单的分类,便于初级阶段的学习,比较容易入门,但是到中、高级阶段容易导致概念混淆,不方便有规则的记忆。

由于以上分类的原因,中国国内高校日语专业教育主要是以“学校文法”为主,代表性教材为《新编日语》(上海外语教育出版社)、《综合日语》(北京大学出版社),而社会的培训类课程多以“教育文法”为主,代表性教材为《中日交流标准日本语》(人民教育出版社),《大家的日语》(外语教学与研究出版社)。虽然两种体系的对象都是日语,但是术语称谓不同容易使学习者混淆,不便统一,尤其是在中、高级阶段学习时,各类教材并无专门针对等级考试 N1 的内容,使学习者很难在市面上找到合适的衔接教程。针对这种情况,本书以“学校文法”为主,兼以“教育文法”为辅的方式,用比较简洁的语言逐一对应介绍两类语法体系的基本概念,方便读者对应理解和查阅。

一、关于有实义词和无实义词

日语属于粘着语,即句子的每一个成分都是由“粘着”某个词汇才能确定该部分在句中的含义和地位。例如:私は3時に自転車で学校へ行きます。其中除了“私、3時、自転車、学校、行”等有实际含义的词汇以外,还有“は、に、で、へ、ます”等以假名形态出现的无实际含义的词